

学校団体の来館状況について

藤 本 光 章*

The report on the date of visitors from schools
Mitsuaki FUJIMOTO

The report on the date of visitors from schools since the foundation of the Ehime Pref.Science Museum in 1994.

はじめに

当博物館がオープンして3年が経過し、その間数多くの人々に来ていただいた。その中には、遠足や修学旅行、校外学習などで学校の団体がこの博物館を利用している。そこで、県内はもちろんのこと県外の学校団体の来館状況を調査することによって、今後の博物館の利用促進に役立てばよいと考えている。本稿では、そのデータを集計し、その結果明らかになった月別の来館状況及び地域別、学校別の来館状況等について報告する。

調査方法

平成6年11月10日のオープン時より平成9年12月28日までの約3年間、当博物館を訪れた小学校、中学校、高等学校、特殊学校、その他の学校団体を調査の対象とし、施設等利用電話受付簿、団体申込書、愛媛県総合科学博物館展示室観覧料等免除申請書に記載されたデータを基に集計した。

調査内容は、来館日、学校名、学年、到着時間、滞在時間、プラネタリウムの有無、地域分類、学校分類の9項目に分けて行った。

集計には、パソコン（ソフト；ロータスアプローチ）を使用し、主に月別の来館状況、地域別の来館状況、学校別の来館状況について調査結果を集計した。また、その他クロス集計も行い、学校別にみた来館時期の傾向やそれぞれの学校団体の地域別分布状況について集計した。

最後に補足として、学校団体の滞在時間やプラネタリウム観覧の状況についても集計を行ったので報告する。



写真1 学校団体のオリエンテーション

結 果

平成6年11月10日から平成9年12月28日までの約3年間の間、来館した学校団体は578校で人数は54,798人であった。これは、総入館者数970,659人の5.6%を占めていることが分かる。また、県外の学校団体については207校の来館があり、入場者数は19,837人であった。これは、来館した全学校団体の35.8%を占め、県外の学校団体について軽視できないことが分かる。そこで今回、学校団体の来館状況について集計した結果を報告する。

1 月別の来館状況

学校の来館状況を月別にみると、表1のとおりであった。この表からみてとれるように一番多かった月は平均8年10月で62校の6,198人であった。二番目に多かった月は、平成9年10月で57校の5,834人であった。また、1,000人を超えている月は、2月、3月、4月、5月、10月、11月となっており、毎年同じ傾向になっている。この原因は、学校の遠足の時期と重なっているためだと考えられる。最近では、遠足以外に校外学習、少年式の記念行事等での来館が増えてきている。

* 愛媛県総合科学博物館振興課 Ehime Pref.Science Museum

また、1月と8月は来館状況が特に少ないが、これは冬休みや夏休み等の長期休業のためであると考えられる。

表1 月別来館状況

	学校数(校)	人数(人)		学校数(校)	人数(人)
平成6年11月	3	376	平成8年6月	7	629
12月	8	353	7月	8	555
平成7年1月	3	96	8月	7	332
2月	17	1,868	9月	3	443
3月	29	2,491	10月	62	6,198
4月	25	3,935	11月	25	2,154
5月	18	2,030	12月	3	267
6月	8	440	平成9年1月	5	237
7月	10	900	2月	9	860
8月	6	225	3月	26	2,624
9月	2	381	4月	22	2,578
10月	33	3,090	5月	26	2,042
11月	30	3,006	6月	3	172
12月	7	322	7月	8	348
平成8年1月	1	51	8月	2	35
2月	13	1,184	9月	3	133
3月	22	1,959	10月	57	5,834
4月	17	2,490	11月	17	1,210
5月	31	2,898	12月	2	52
			合 計	578	54,798

2 地域別にみた来館状況

地域別の来館状況を県内は、東予地方、中予地方、南予地方の3つに分け、県外は、香川県、徳島県、高知県、その他に分けて集計し、表2にまとめた。

その結果、一番多かったのは、当博物館のある東予地方で242校の20,849人であった。二番目に多かったのは、香川県で131校の15,339人であった。次に多かったのは、中予地方で88校の11,190人であった。このことから、どうして二番目に香川県が多かったのかを考えてみると、博物館からの地理条件や交通条件のためではないかと考えることができる。なぜなら香川県西部の学校は、高速道路を利用することによって1時間程度で博物館に来ることができるからである。そして中予地方は、以前高速道路が通っていなかったため来館に2時間近くかかってしまったからである。

このように地域別に来館状況をみた結果、博物館からの地理条件や交通条件が大変重要であることが分かる。

表2 地域別来館状況

地 域	学校数(校)	人 数(人)
愛媛県	東予地方	242(41.9%)
	中予地方	88(15.2%)
	南予地方	41(7.1%)
香 川 県	131(22.7%)	15,339(28.0%)
徳 島 県	31(5.4%)	2,457(4.5%)
高 知 県	43(7.4%)	1,977(3.6%)
そ の 他	2(0.3%)	64(0.1%)
合 計	578(100%)	54,798(100%)

3 学校別にみた来館状況

学校別の来館状況を小学校、中学校、高等学校、特殊学校、その他に分けて集計し、表3にまとめた。

その結果、一番多かったのは、やはり小学校で323校の24,576人であった。二番目に多かったのは、中学校で130校で16,857人であった。

このことから、この博物館に一番興味を示してくれているのが小学生や中学生であることが分かる。

表 3 学校別来館状況

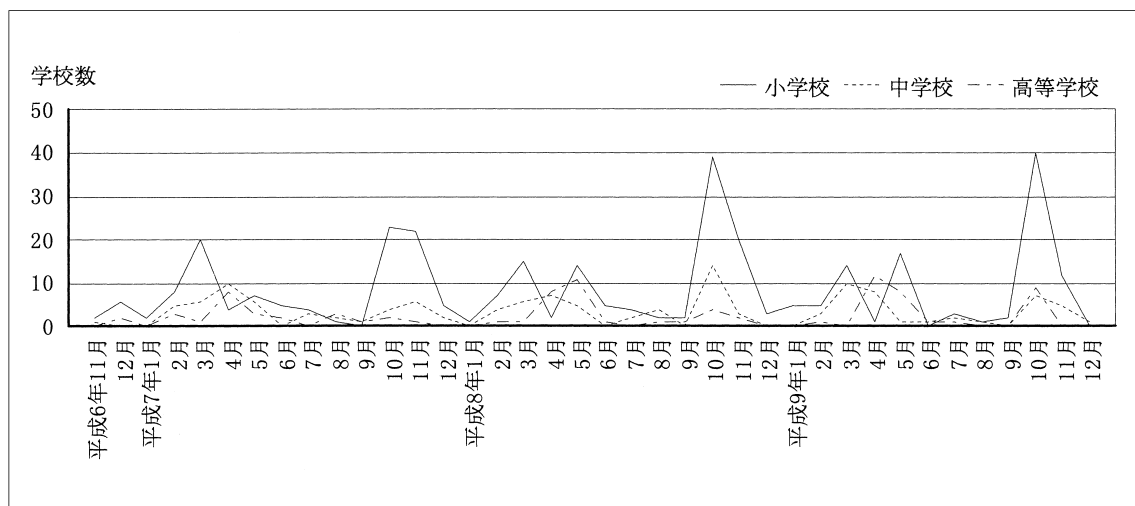
学 校	学校数(校)	人 数(人)
小 学 校	323(55.9%)	24,576(44.8%)
中 学 校	130(22.5%)	16,857(30.8%)
高 等 学 校	88(15.2%)	11,783(21.5%)
特 殊 学 校	24(4.2%)	1,089(2.0%)
そ の 他	13(2.2%)	493(0.9%)
合 計	578(100%)	54,798(100%)

4 学校別にみた来館時期の傾向

次に調査したデータをクロス集計し、学校別にみた来館時期の傾向を図1のグラフにまとめた。

このグラフから分かるように、小学校は10月に集中して来館しているが、中学校は10月の他にも3月や4月、5月に多く来館している。高等学校は10月よりも4月と5月に多く来館している。このように学校によって来館時期が微妙に違うことが分かる。

図 1 学校別来館時期



5 地域別にみた入場者数の分布状況

次に、それぞれの地域での来館学校団体の入場者数の分布状況を図2にまとめた。

この図から分かるように、小学生の場合は、東予地方が12,336人と最も多く、次に香川県の6,345人となっている。また、中学生の場合は、中予地方及び東予地方の生徒がそれぞれ5,251人と5,114人で多く、次に香川県の4,145人となっている。高校生の場合は、香川県の4,691人が最も多く、次に中予地方3,049人、東予地方2,586人となっている。



写真2 サイエンスショーでの観覧の様子

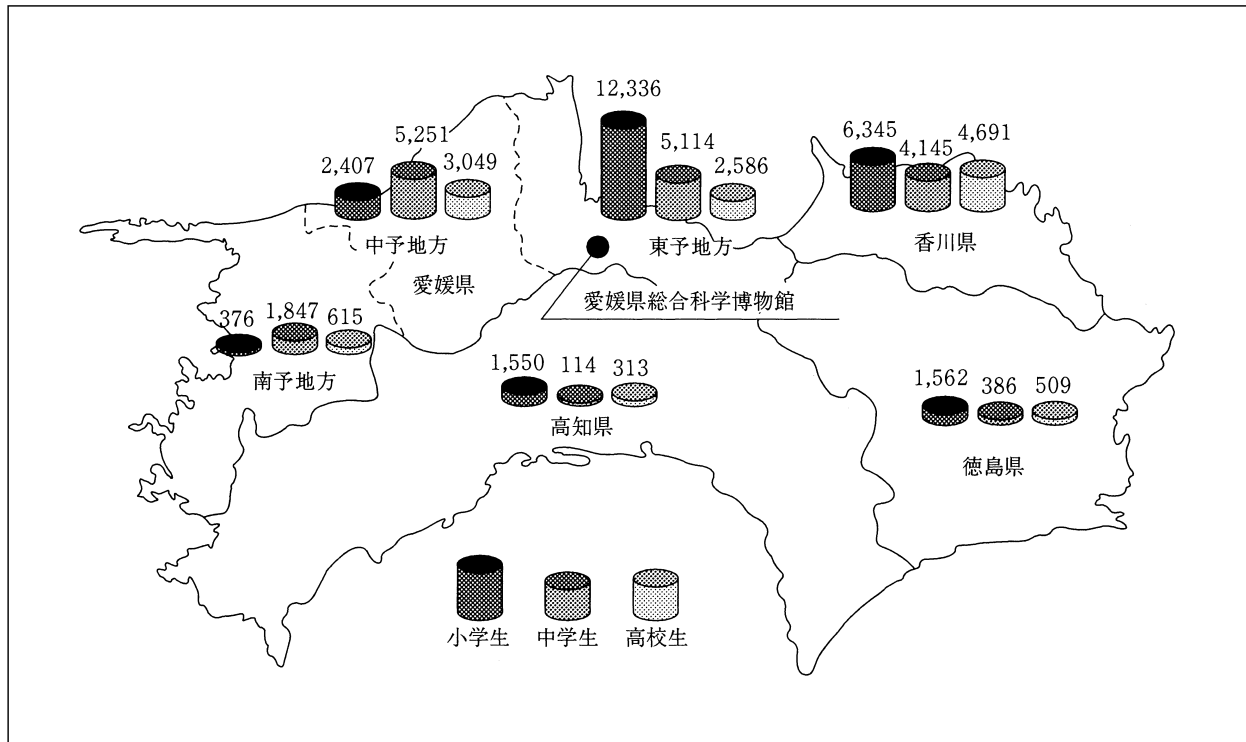


図2 地域別にみた入場者数の分布状況

6 学校団体の滞在時間について

次に学校団体の滞在時間について集計したものを図3にまとめた。

どの学校団体も長時間滞在しており、プラネタリウムや常設展示の観覧で最低2時間は要していることが分かる。また、昼食も博物館で摂っている学校団体も多く、長いところでは5時間近くも滞在している。

このことから、別の場所に行く途中で寄ったのではなく、この博物館の観覧を目的とした来館であることが分かる。

7 プラネタリウム観覧の有無について

次にプラネタリウム観覧の有無について集計したものを図4にまとめた。

このグラフから分かるように、プラネタリウムを観覧した学校団体は、482校で全体の83.4%に達しており、プラネタリウムの人気の高さが分かる。また、残り16.6%の学校団体についても観覧の希望をしたにもかかわらず、人数制限のため観覧できなかった学校も数多くあった。

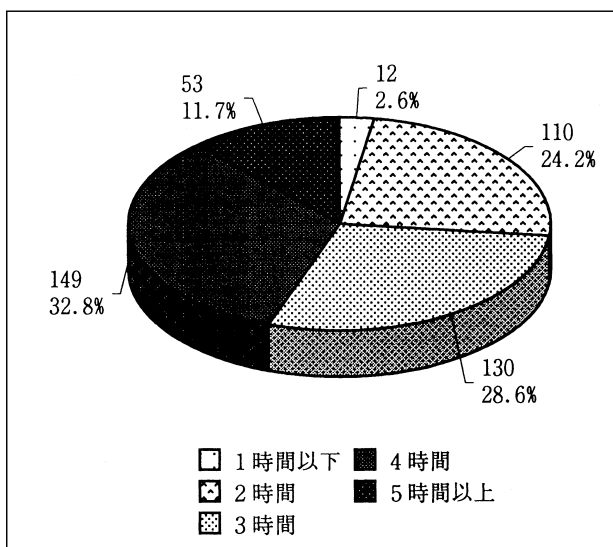


図3 学校団体の滞在時間

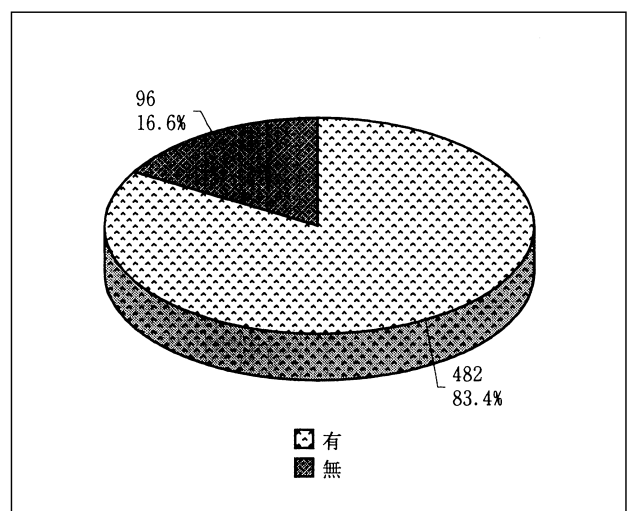


図4 プラネタリウム観覧の有無

考 察

以上のように学校団体の来館状況について調査した結果をまとめたわけだが、現在のところほとんどの学校団体が遠足や校外学習等で博物館を利用していることが分かる。そのため、来館の時期がある程度予想でき、広報活動に役立てることができる。また、地理条件や交通条件についても充分考慮に入れる必要があり、高速道路沿いの学校への広報活動は大変有効であると思われる。

今後の課題として、来館の少ない時期にどのように学校団体を増やしていくのか、また、県外の学校団体をどのように増やしていくのかを検討する必要があると考える。